

新しい資本主義とケアワーカー—女性の賃金の視点から—

第37回女性労働セミナー★オンライン

定員:300人

2022年9月24日(土) 13:00~16:15

場所:オンライン 参加費:無料(カンパ歓迎・詳細は裏面を)

【申し込み先】

<https://forms.gle/7oFRJp31aGuxbcLy7>



- ▶岸田首相の提唱する「新しい資本主義」に疑念が強まっています。
- ▶20年以上、賃金が上がらず、格差と貧困が拡大する社会のおかしさ、苦しさに多くの方は気づいています。とりわけ保育や介護などのケア労働を始めとした、女性に過大な負担を負わせています。低賃金は「自己責任」ではありません。
- ▶今、求められるのは、政府の政策や社会の仕組みを変えることではないでしょうか。
- ▶ケアワーカーの働き方と賃金を通じて、「新しい資本主義」の実像に迫ります。

【プログラム】

●基調報告①

ジェンダー視点で斬る「新しい資本主義」

大沢 真理さん(東京大学名誉教授)

●基調報告②

介護労働者の賃上げと「新しい資本主義」

山根 純佳さん(実践女子大学人間社会学部教授/会員)

●現場から①

保育労働者の賃上げは国民的課題

澤村 直さん(全国福祉保育労働組合中央本部書記長)

●現場から②

ホームヘルパー崩壊の危機と賃上げの課題

伊藤みどりさん(ホームヘルパー国家賠償訴訟原告/介護福祉士/会員)

★コメンテーター:後藤 道夫さん(都留文化大学名誉教授/会員)

女性の低賃金構造をどう見るか

★コーディネーター・コメンテーター:

竹信三恵子さん(ジャーナリスト/和光大学名誉教授/
女性労働問題研究会代表)

★総合司会:金井 郁さん

(埼玉大学人文社会科学部教授/会員)

主催:

女性労働問題研究会

〒100-0003東京都千代田区一ツ橋1-1-1/パレスサイトビル(株)毎日学術フォーラム

TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 E-mail:maf-ssww@mynavi.jp

HP:<http://ssww.jp/>

参加方法について

どなたでも参加できますが、必ず事前に申し込みをお願いします。

申し込み締切 = 9月17日(土)

●事前申し込みは次の方法でお申し込みください。

- ・次のURLにアクセスして
<https://forms.gle/7oFRJp31aGuxbcLy7>
- ・右のQRコードから
- ・メールアドレスに ssww@ssww.jp



●定員に達しましたら、申し込みを締め切らせていただきます。

●お申し込みいただいた方には、事前に(締め切り後)参加のためのURLと資料をお送りします。前日までに参加のためのURLが届かない場合は、ssww@ssww.jp にご連絡ください。

●カンパの送り先

- ・ゆうちょ銀行 □座番号 00110-0-900865 加入者名 女性労働問題研究会
- ・三井住友銀行 大船支店(873) □座番号 普通 7098879
加入者名 女性労働問題研究会 代表 竹信三恵子

プロフィール

大沢 真理さん

東京大学名誉教授、東京大学社会科学研究所長、東京大学副学長を歴任、経済学博士、専門は社会政策、日本学術会議連携会員

山根 純佳さん

実践女子大学人間社会学部教授、社会学博士、専門は社会学・ジェンダー研究、当会会員

澤村 直さん

全国福祉保育労働組合中央本部書記長、1991年高崎市の民間保育園に就職し、全国福祉保育労働組合群馬支部加入、2011年全国福祉保育労働組合中央本部専従、2013年9月より中央本部書記長、現在に至る

伊藤みどりさん

ホームヘルパー国家賠償訴訟原告、介護福祉士、数々の職を経て1995年女性ユニオン東京結成、5年間専従をつとめる、2007年働く女性の全国センター結成、現在に至る、契約更新21回、現在ホームヘルパー11年目、2019年11月ホームヘルパー国家賠償訴訟原告となる、当会会員

後藤 道夫さん

都留文科大学名誉教授、専門は社会哲学・現代社会論、福祉国家構想研究会共同代表、非営利・協同総合研究所副理事長、当会会員

竹信三恵子さん

ジャーナリスト、和光大学名誉教授、女性労働問題研究会代表、近著に『賃金破壊——労働運動を「犯罪」にする国』(旬報社、2021年11月)

金井 郁さん

埼玉大学人文社会科学部教授、国際協力学博士、専門は労働経済論・ジェンダー、当会会員



▼女性労働問題研究会ホームページ
<http://ssww.jp/>